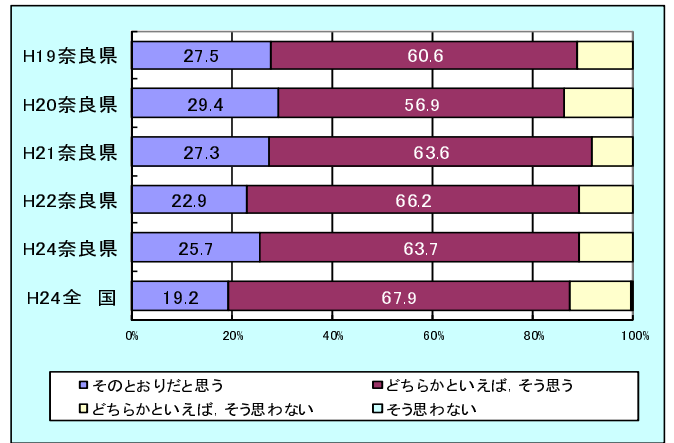
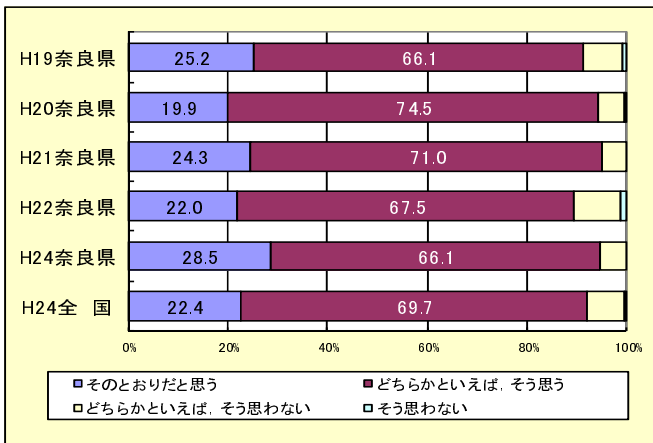


学校質問紙調査結果から

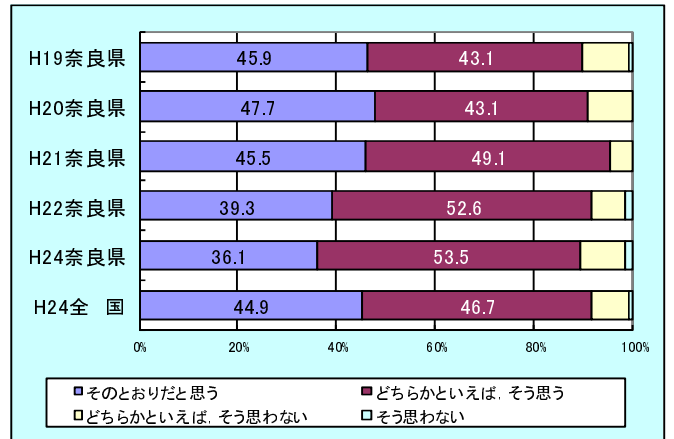
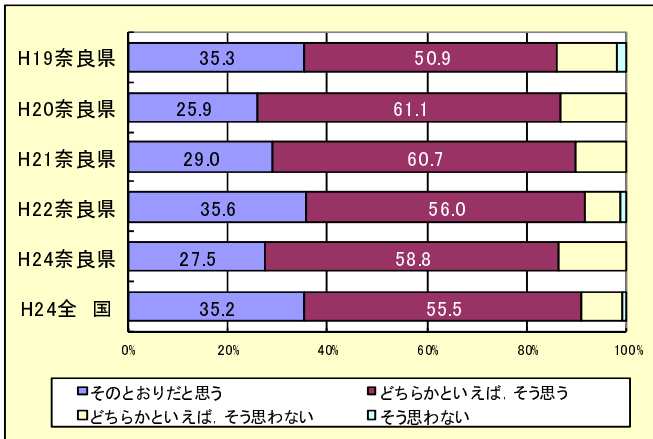
児童生徒に関する設問（学習態度）

自校の児童生徒が「熱意をもって学習していると思う」と肯定的にとらえている割合は、小・中学校とも平成22年度より増加し、全国平均を上回っている。「授業中の私語が少なく、落ち着いていると思う」と肯定的にとらえている割合は、小・中学校とも平成22年度より減少し、全国平均を下回っている。

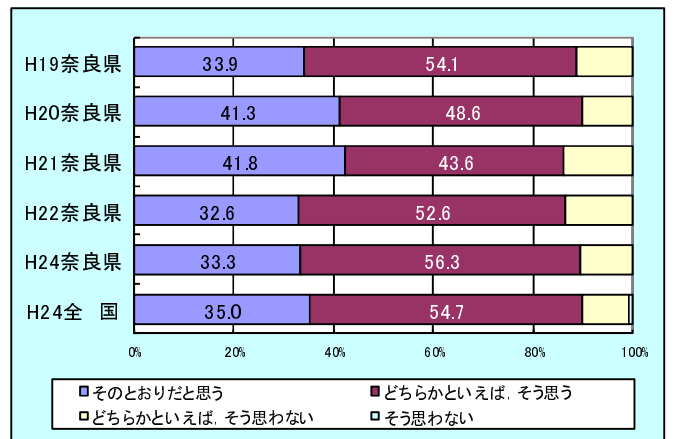
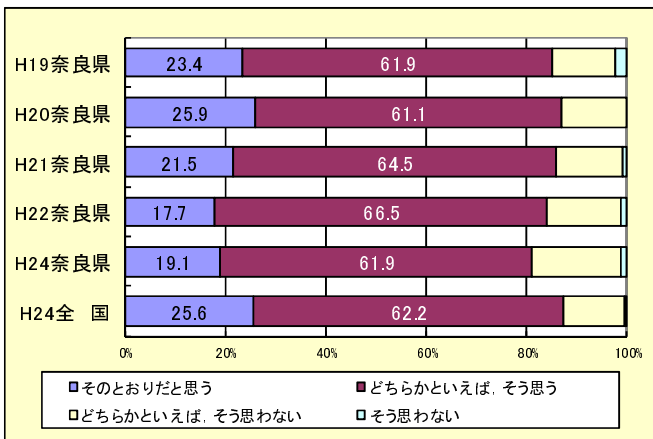
児童生徒は、熱意をもって学習していると思いますか



児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



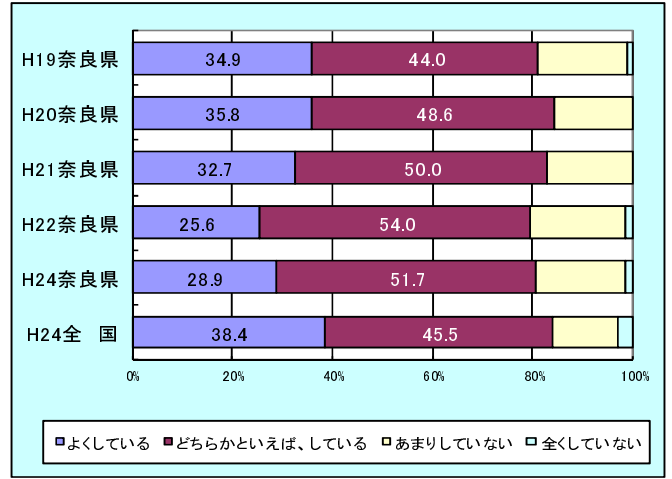
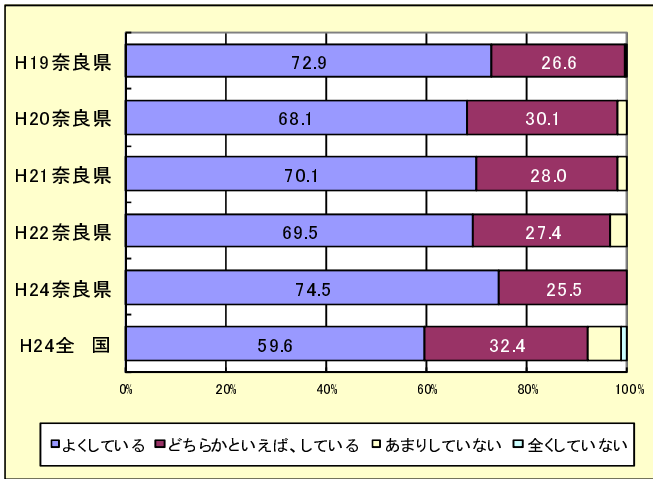
児童生徒は、礼儀正しいと思いますか



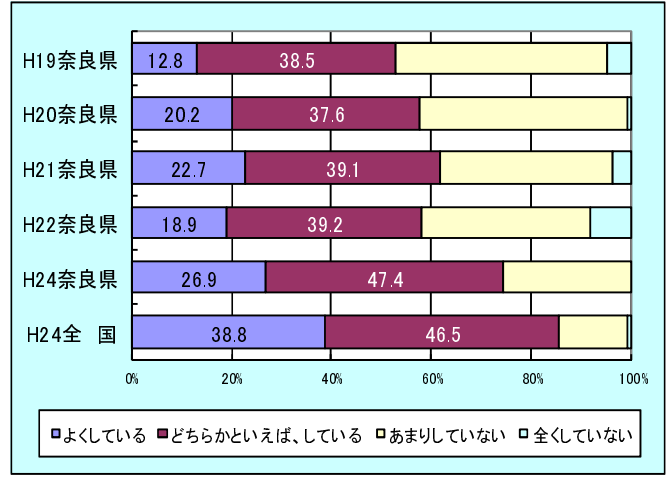
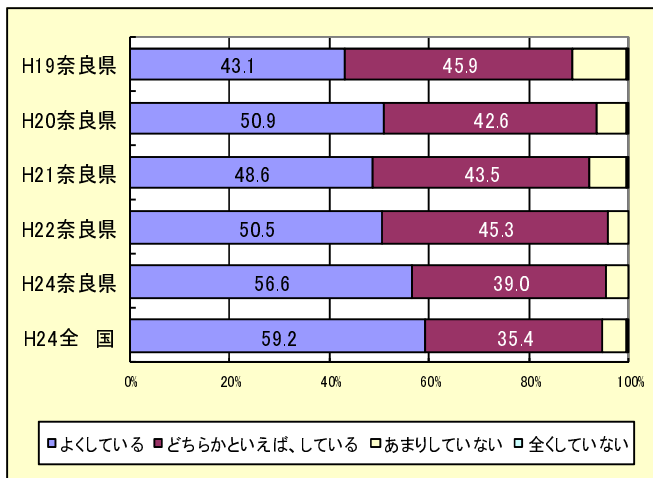
教員研修に関する設問

学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修は、特に小学校において積極的に行われている。模擬授業や事例研究などを行っている学校の割合は、小学校で全国平均を上回っている。授業研究を伴う校内研修を行った学校の割合は、小・中学校ともに全国平均を下回っている。特に中学校においては、年間実施回数が2回以下の学校が約25%あり、全国と比べても多い。

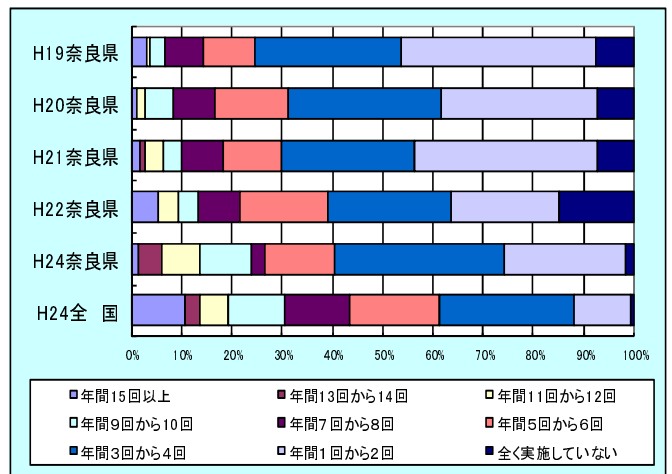
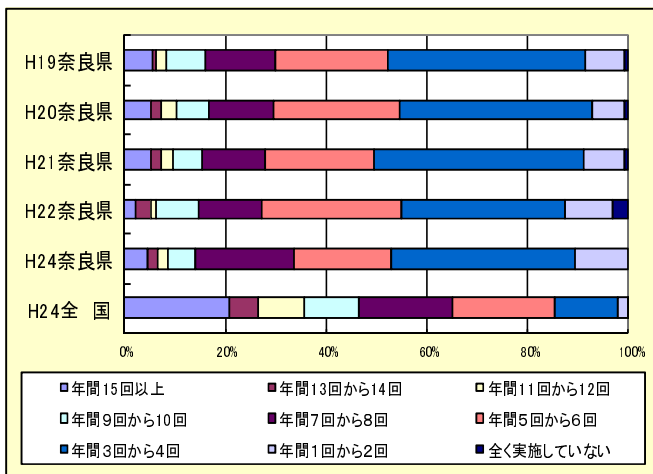
学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか



模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか



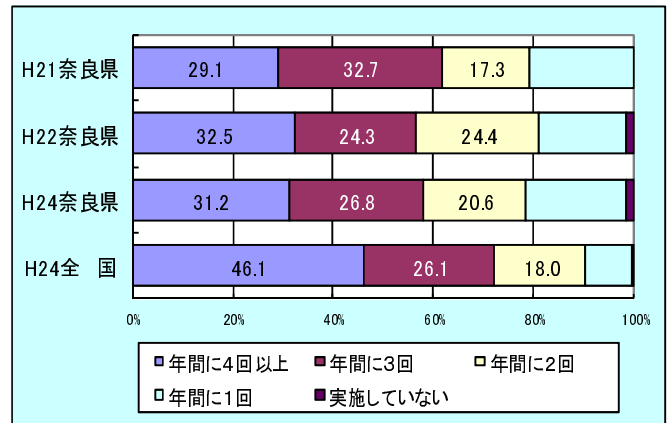
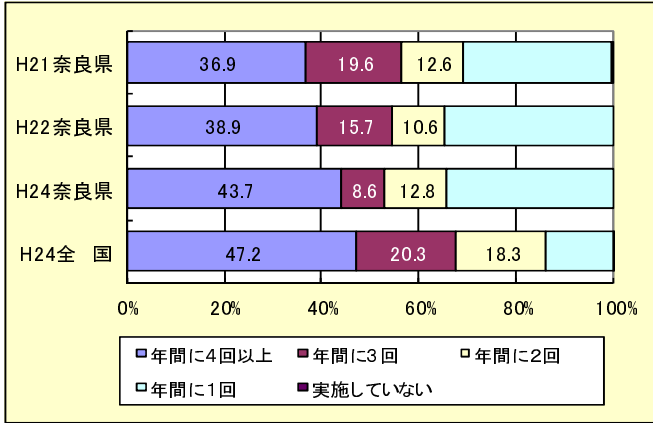
授業研究を伴う校内研修を前年度、何回実施しましたか



開かれた学校に関する設問

懇談会の開催やアンケート調査など、保護者からの意見や要望を聞く機会の設定については、全国と比較して少ない傾向にある。

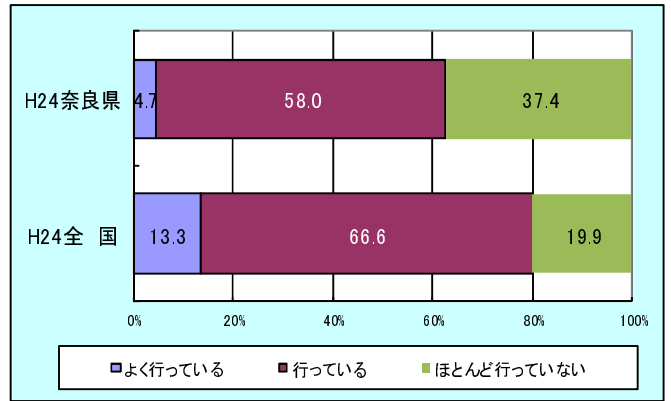
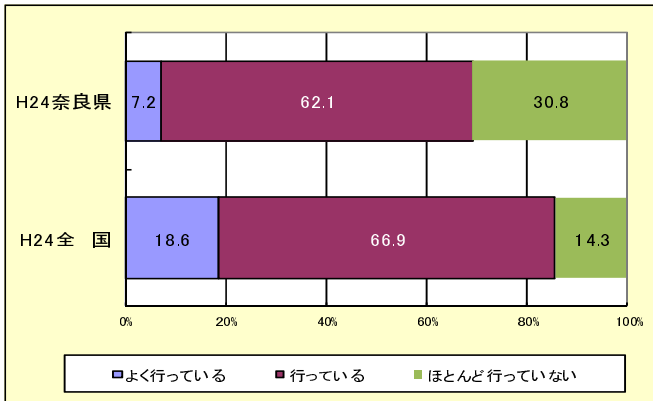
保護者からの意見や要望を聞くために、学校として懇談会の開催やアンケート調査を前年度にどのくらい実施しましたか



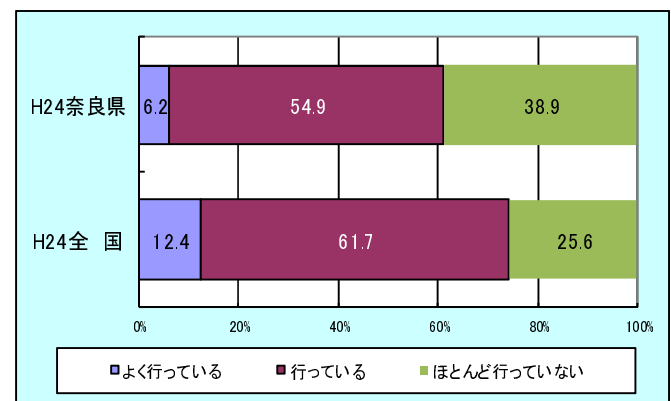
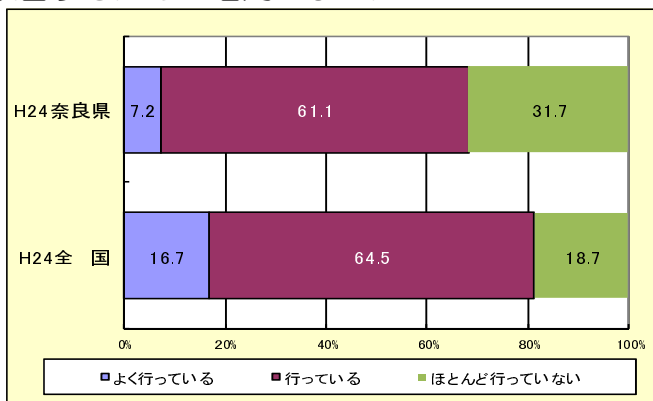
調査の活用に関する設問（平成24年度調査結果）

平成23年度全国学力・学習状況調査の問題冊子等や独自の調査等の結果を、具体的な教育指導の改善や学校全体での教育活動の改善に活用していない。

平成23年度全国学力・学習状況調査の問題冊子等や独自の調査等の結果を利用し、具体的な教育指導の改善に活用しましたか



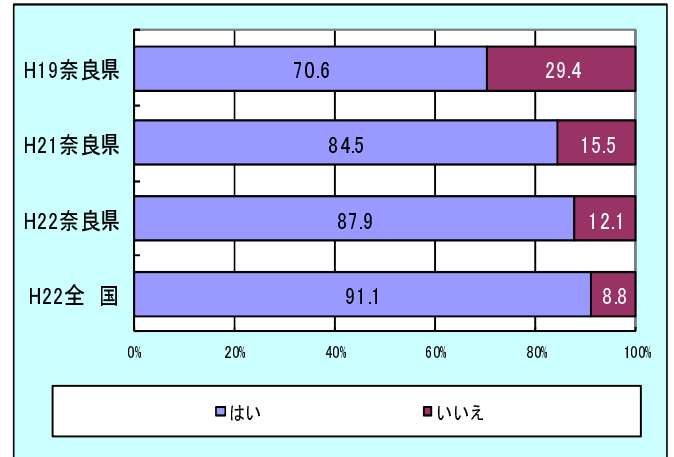
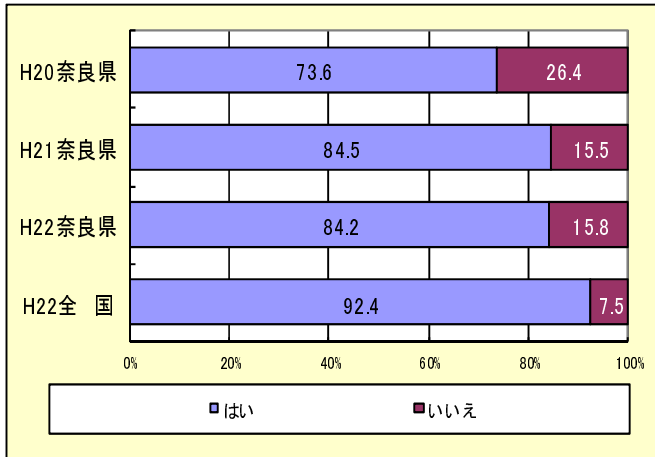
平成23年度全国学力・学習状況調査の問題冊子等や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか



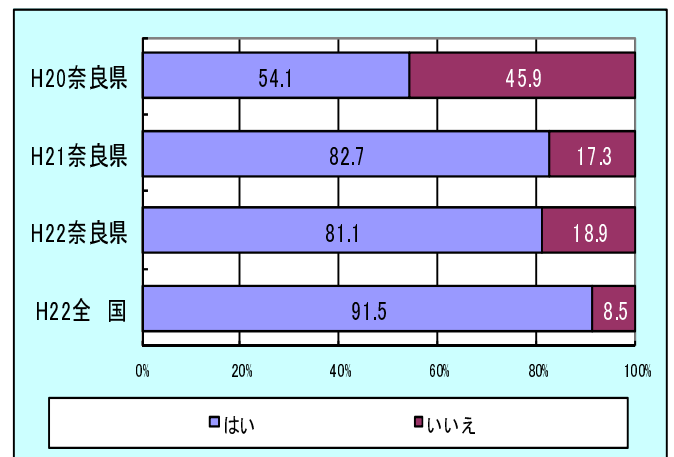
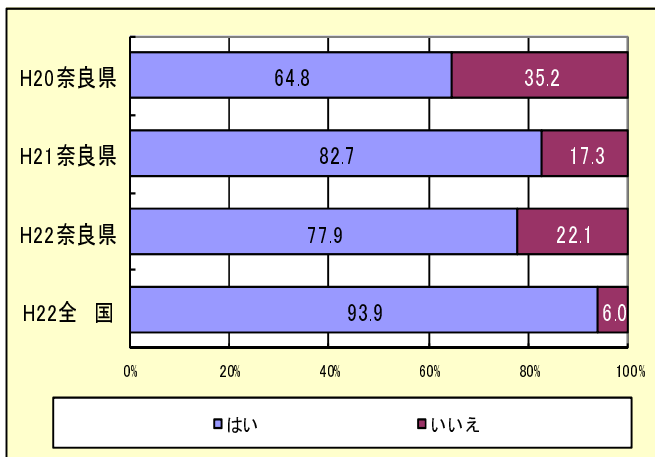
調査結果の活用に関する設問（平成22年度調査結果）

全国学力・学習状況調査の結果の活用に関しては、年々増加してきている設問もあるが、依然として5つの設問とも全国平均を下回っている。

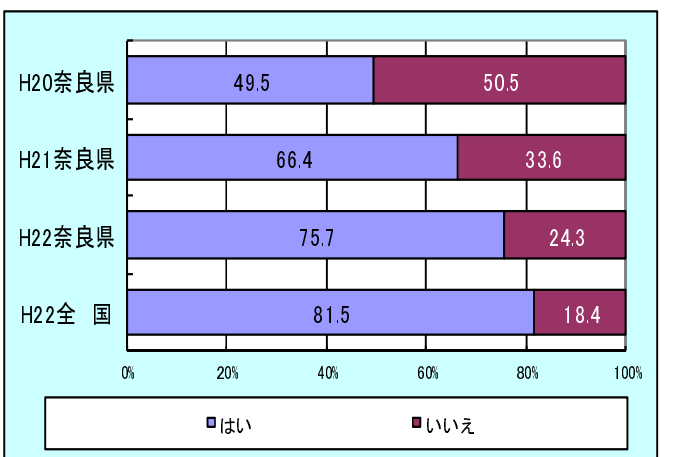
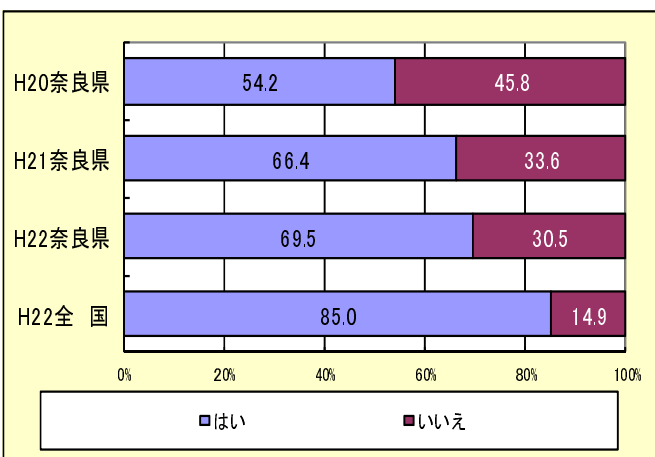
全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、指導計画等に反映させましたか



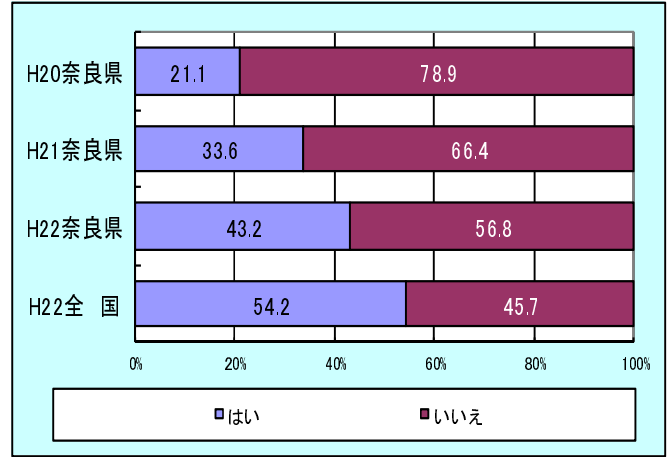
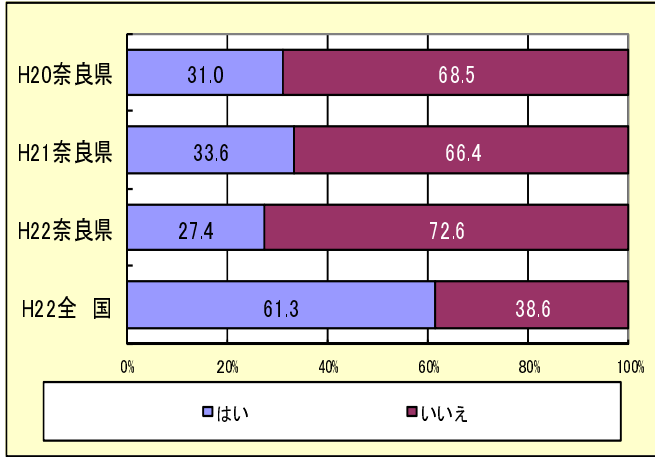
全国学力・学習状況調査の結果を分析し、具体的な教育指導の改善に活用しましたか



全国学力・学習状況調査の自校の結果を対象学年・教科だけでなく、学校全体で活用しましたか



全国学力・学習状況調査の調査問題を第6学年（第3学年）や他学年の授業の中で活用しましたか



学校の指導計画や取組を検討するにあたり、全国学力・学習状況調査の調査結果や報告書の内容を参考にしましたか

